

第3章 第4次金沢市住生活基本計画に関する基本方針

1. 基本理念

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える住生活の実現 ～金沢の魅力ある住まいを次世代に継承する～

本市の歴史文化を象徴する個性ある住まいや、時代の変化に柔軟に対応した魅力的な住まいの価値を創造し、都市として選ばれ「住みたい」と思える住まいづくりをめざします。

また、人口減少や少子高齢化が進展する中、頻発・激甚化する自然災害の対策、脱炭素社会の実現に向けての対応、働き方改革やコロナ禍を契機とした新たな住まい方の対応等の様々な変化やニーズに対応し、持続的に安全安心で快適に暮らすことができる「住み続けたい」と思える住まいづくりをめざします。

本計画では第3次計画の『誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える住生活の実現』を継続するとともに、次世代に向けて良質な住宅ストックと魅力的な住環境をつくり、持続可能な社会の実現を本市の住生活分野でも取り組むべく「金沢の魅力ある住まいを次世代に継承する」もあわせて位置づけ、市民や事業者と連携して取り組んでいきます。

2. 施策の体系

【基本理念】

誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える住生活の実現

～金沢の魅力ある住まいを次世代に継承する～

【施策の目標】

【施策の方向性】

【テーマ別施策】

目標1 居住者の視点

誰もが安心して暮らせる
住まいの実現

(1) 誰もが暮らしやすい住環境の実現

(2) 新たな日常に対応した魅力的な暮らし方の実現と移住の促進

(3) 地域コミュニティの醸成と充実

(4) 住宅セーフティネットの取組の推進

①子育て世帯が暮らしやすい住環境の整備
②高齢者等が安心して暮らせる住まいの確保

①移住希望者が必要とする魅力的な情報の発信
②移住者に対する住宅取得への支援

①地域に応じた市街地整備・まちづくり活動の推進
②地域コミュニティの醸成に向けた環境づくり

①市営住宅の適正管理
②民間賃貸住宅の活用促進
③継続的な福祉部局等との連携

目標2 住まいの視点

次世代に向けた良質な
住宅づくりの推進

(1) 安全で安心な住宅・住宅地の形成

(2) 良質な住宅ストックの形成

(3) 空き家・空き地の適切な管理・活用流通の促進

(4) 脱炭素社会に向けた住まい・暮らしの普及促進

①住宅・建築物の耐震化の促進
②密集市街地における安全な居住環境の整備
③災害に強い住環境整備と災害リスク情報の周知

①長期間居住できる良質な住宅づくりの推進
②中古住宅の品質確保と流通促進
③分譲マンションの実態把握と管理適正化の推進

①空き家等の未然防止と適切な管理の推進
②空き家等の活用流通の促進

①住宅の創エネ・省エネ・蓄エネ化の促進
②炭素貯蔵効果の高い木材の利用促進

目標3 地域の視点

歴史と文化を活かした
魅力あるまちづくり

(1) 木の文化都市・金沢の継承と創出

(2) 金澤町家の保全・活用の推進

(3) まちなかや居住誘導区域の定住促進

①木の文化の推進に向けた情報等の提供
②住まいや住環境における木の文化の普及
③木の文化を担う団体等との連携と人材の育成

①金澤町家再生活用事業等による改修への支援
②金澤町家の流通・活用の促進
③金澤町家に対する市民等の意識醸成、人材の育成

①まちなか区域での定住の促進
②居住誘導区域での定住の促進

3. 施策の目標と方向性

目標1 居住者の視点

誰もが安心して暮らせる住まいの実現

市民ひとりひとりが安心して暮らせる住生活の実現をめざし、子育て世帯に対する支援や、高齢者や障害のある人が自立した生活を送るための支援の充実を図るとともに、地域コミュニティの維持・活性化を図ります。また、住宅セーフティネットの取組として、市営住宅の適正管理や住宅確保要配慮者に係る関係部局との連携を図ります。加えて、金沢での魅力的な暮らしに関する情報発信を行い、移住・定住を促進します。

<施策の方向性>

- (1) 誰もが暮らしやすい住環境の実現
- (2) 新たな日常に対応した魅力的な暮らし方の実現と移住の促進
- (3) 地域コミュニティの醸成と充実
- (4) 住宅セーフティネットの取組の推進

目標2 住まいの視点

次世代に向けた良質な住宅づくりの推進

頻発・激甚化する風水害や地震など大きな災害に対する対策に取り組むとともに、空き家・空き地の適正管理や有効活用及び流通促進を図り、安全で良質な住宅ストックや住環境の形成を図ります。また、脱炭素社会の実現に向けた住まいの省エネ性能の向上や木材利用を促進します。

<施策の方向性>

- (1) 安全で安心な住宅・住宅地の形成
- (2) 良質な住宅ストックの形成
- (3) 空き家・空き地の適切な管理・活用流通の促進
- (4) 脱炭素社会に向けた住まい・暮らしの普及促進

目標3 地域の視点

歴史と文化を活かした魅力あるまちづくり

恵まれた自然や地形を背景にした歴史的なまちなみや金澤町家をはじめとする伝統的な建築物の保全活用や、木を幅広く取り入れた住まいづくりを促進するとともに、今後の住生活産業を担う人材の育成を推進します。また、まちなかをはじめとした魅力ある集約型のまちづくりを促進します。

<施策の方向性>

- (1) 木の文化都市・金沢の継承と創出
- (2) 金澤町家の保全・活用の推進
- (3) まちなかや居住誘導区域の定住促進